

HK Foreign Direct Investment

香港フィンテック・ウィーク - 2017年10月23～27日

2017年10月23日から27日まで、香港コンベンション&エキシビションセンターにて「第2回香港フィンテック・ウィーク」を開催します。この期間には、香港が世界のフィンテック界にもたらす独自かつダイナミックな価値にスポットライトを当て、多彩なイベントやアクティビティが企画されています。

香港フィンテック・ウィークは、香港で3週連続で行われるフィンテックイベントの第1弾です。規制当局関係者、起業家、投資家、スタートアップ、学术界関係者、サービスプロバイダーが香港内はもちろん、世界中から集まります。

第1週 Hong Kong Fintech Week (10月23～27日)

主なテーマは、スタートアップのための資金調達からIPO、中国のフィンテック、Blockchainと人工知能、サイバーセキュリティ、RegTech、InsurTech、WealthTech、そして一帯一路構想などです。香港金融管理局(HKMA)、証券先物委員会(SFC)をはじめ香港規制当局からの積極的な参加も見込まれます。香港のフィンテックアクセラレータープログラムも大きく紹介されます。

第2週 Fintech and U (10月30日～11月3日)

第2週は、教育分野におけるフィンテックと香港で急拡大する人材プールをテーマに取り上げます。ハッカソン、ジョブフェア、深圳訪問、高校・大学への研修ツアーなどが行われます。

第3週 FinovateAsia 2017 (11月7～8日)

Finovate Asia 2017は投資家、起業家、サービスプロバイダーおよびその他ステークホルダーを相手に短時間でプレゼンテーションするピッチコンテストで、アジアで行われるフィンテックイベントの代表格です。詳しい情報やイベントの最新情報はウェブサイト(<http://asia2017.finovate.com/>)をご覧ください。

フィンテック専門チーム

インベスト香港では、香港内にフィンテック専門チームを立ち上げ、ロンドンとサンフランシスコにも担当者を配置しました。このチームの使命は、世界トップレベルの先進的フィンテック企業、スタートアップ、投資家、その他ステークホルダーを香港へと誘致し、この地域での足場作りを支援することです。事業評価、事業立上げ準備(事務所探し、ビザ申請、銀行口座の開設)、規制当局への紹介、人脈作り、広告宣伝活動の支援など、実務に即したサポートを行います。

急成長するフィンテックエコシステム

香港では、2016年時点で138社のフィンテック関連スタートアップが活動し、前年から60%増加しています。

昨年11月に行われた第1回香港フィンテック・ウィーク以降、香港内ではフィンテックエコシステムを醸成し、フィンテックイノベーションの国際連携を後押しする新しい取り組みが多数行われています。主要な取り組みは以下のとおりです。

- 2017年1月、香港中文大学工学部は2017/18年度から香港初のフィンテック学部課程プログラムを開始すると発表。
- 2017年3月、HKMAは、Blockchainテクノロジーを基盤にした新しい貿易金融プラットフォームについて発表。貿易金融において不正行為のリスク軽減し、ビジネスの透明性強化、業務の効率化と生産性向上を図るための分散型台帳テクノロジー(Blockchain)の使用可能性実証が目的。
- 2017年5月、SFCは、世界でのフィンテックイノベーションについて協力するための英国金融行為規制機構(FCA)との提携を発表。この合意によって、フィンテック企業にとって互いの市場への参入が容易に。さらに6月、オーストラリア証券投資委員会(ASIC)ともフィンテックの進展に関する情報共有と、互いの法域への参入を目指すフィンテック企業の支援について合意。
- 2017年6月、HKMAと、深圳市人民政府金融發展サービス局(OFDS)は、双方の市場への参入を望むフィンテック企業の支援に関する相互協力に合意。インベスト香港、Cyberport、香港サイエンスパークは、広東・香港・マカオを一体化する経済圏構想実現の一環として香港と深圳間の意見交換や協力を深めることになるこの重要な取り組みの戦略的パートナー。
- 香港証券取引所は、テクノロジー企業やスタートアップの香港への誘致を強化する取り組みの一環として、6月中旬に新しい証券市場立ち上げに向けた協議を開始。

香港フィンテック・ウィークについて最新情報をご希望の方は下記よりご登録下さい。



国際イベント・スケジュール

7月11～13日 香港

RISE 2017

RISE はヨーロッパ最大のテックカンファレンスである Web Summit が開催するイベントです。世界に名だたる企業や今最も勢いのあるスタートアップ企業が香港に集まり、それぞれの経験談を披露します。世界の大手メディアのほか数百人の投資家や数千人の参加者が来場し、活発な人脈作りが行われます。

場所: *Hong Kong Convention & Exhibition Centre*

主催: *Web Summit*

▶riseconf.com

7月12日 東京

World Wealth Summit 2017、Summer

国内外で活躍する企業やオーナーをサポートするプロフェッショナル向けのセミナーです。インベスト香港は香港の投資環境と実際に現地で事業をされている方を招き、対談形式で香港での事業展開や現地の人のライフスタイルについてご紹介します。

場所: *アークヒルズクラブ*

主催: *税理士法人 ネイチャー国際資産税 (Nature International Tax Inc.)*

7月12～14日 香港

Korea Brand & Entertainment Expo 2017 (KBEE)

KBEE は大韓貿易投資振興公社 (KOTRA) が行う海外での最大規模のイベントです。貿易振興を図り、韓流エンターテインメントや韓国製品を海外企業や消費者に紹介します。

場所: *Asia World Expo*

主催: *Korea Trade Investment Promotion Agency*

▶kbee.kr/hk/main

7月25～27日 香港

International Design Furniture Fair Hong Kong (IDFFHK) 2017

IDFFHK はアジアの高級デザイン家具やライフスタイルを取り扱う国際見本市です。デザイン発信の場、またアジアにおけるビジネス人脈を広げる場となることを目的としています。ケルン国際家具インテリア見本市 (IMM Cologne) との提携のもと、2度目の開催となる IDFFHK 2017 は受賞歴のある建築家やデザイナーを招いた対話型講演、ブランド理念を反映したギャラリー・ショーケースやデザイン展示が行われます。特別前売入場券は www.hkticketing.com でお求めいただけます。

場所: *Hong Kong Convention and Exhibition Centre*

主催: *International Design Furniture Fair HK Ltd*

▶idffhk.com



8月30日～9月1日 香港**The Natural & Organic Products Expo 2017 (NOPA)**

2014年以降、NOPAは自然・オーガニック製品に関わるあらゆるものを取り扱う場として業界をリードしてきました。昨年は30以上の国と地域から220以上の出展者が香港に集まり、自然に配慮し、認定を受けた健康的で安心なオーガニック製品が披露されました。この成功を受け、NOPA2017では展示フロアを拡大し、より多くの出展者や来場者をお待ちしています。

場所: Hall 1DE, Hong Kong Convention and Exhibition Centre

主催: Diversified Communications

▶ [naturalproducts.com.hk /event](http://naturalproducts.com.hk/event)

9月7日 香港**APAC Innovation Summit 2017: Smart City**

APAC Innovation Summitは香港科技园公司(Hong Kong Science and Technology Parks Corporation)の主要イベントであり、テクノロジーと市場動向の情報交換の機会を提供します。地域でも知名度の高いイベントになったことから、地元のみならず世界中から学術関係者、研究分野、産業分野、政府関係者や投資家が集まります。

場所: Hong Kong Science and Technology Park

主催: Hong Kong Science and Technology Parks Corporation

▶ [apacinnosummit.hkstp.org /en/ais-smart-city](http://apacinnosummit.hkstp.org/en/ais-smart-city)

9月8日 香港**AmCham Hong Kong 2017 China Conference**

在香港米国商工会議所(AmCham HK)が毎年恒例の中国カンファレンスを開催し、中国専門家や、アジアのみならず世界中からビジネスリーダーが集まり、中国の今後の見通しとそれにまつわる課題と機会について話し合います。

場所: Four Seasons Hotel Hong Kong

主催: 在香港米国商工会議所

▶ amchamhk.eventbank.com/event/5648/home.html

9月11日 香港**Belt and Road Summit**

このサミットは2,400名を超える政府関係者、国際機関の代表や財界を代表する企業の経営陣が、中国ならびに「一帯一路」沿いの諸国から集まり、この構想から生まれる新しいビジネス機会について共に見出していくことを目的としています。

場所: Hong Kong Convention and Exhibition Centre

主催: 香港貿易發展局

▶ [beltandroadsummit.hk /en/index.html](http://beltandroadsummit.hk/en/index.html)

9月12日、香港**ICT(情報通信技術)とI&T(技術革新・科学技術)の交流会**

同交流会はICT(情報通信技術)とI&T(技術革新・科学技術)分野の企業の皆様に香港への貢献に対して謝意を表すために開催されます。

場所: 香港

主催: 香港投資推進局(インベスト香港)

■ インベスト香港主催行事

詳細については、www1.investhk.gov.hk/events をご覧ください。



特集:

香港投資推進局(インベスト香港) 新局長 スティーヴン・フィリップス インタビュー

2017年5月 香港特別行政区政府の指名を受けてスティーヴン・フィリップスが香港投資推進局(インベスト香港) 局長に就任しました。就任以前、フィリップスは英国と中国のビジネスの推進をはかる英中貿易協会(The China-Britain Business Council)の最高経営責任者を11年間務めていました。



同氏は以前、投資銀行で働いた後、金融及びテクノロジーのコンサルタント会社の共同創業者として1989年から2004年の間に香港に在住していたため、この街に精通しています。また、アジア各地も訪れており、この25年余りの香港の変化を目の当たりにしてきました。

香港は常に状況の変化を捉えてそれに合わせて自らを変えていくという驚くべき力を持ちあわせていると、同氏は語ります。「中国本土や急速に発展するアジア市場と香港の関係は過去二、三十年で大きく変貌を遂げました。そしてこれからも香港はこの進化し続ける環境に順応していくでしょう」と同氏は述べています。

香港にとっての好機

フィリップスは香港に強い思い入れがあります。香港は世界でも最もダイナミックな都市のひとつであり、特殊な条件を備えていると彼は感じています。「香港は多国籍企業、世界中の中小企業、そしてまたもちろん中国本土の企業にとって重要な市場ですが、それ以上にアジア全体のビジネスハブとしての特別な立場にあり、その重要度が増してきています。『一帯一路』構想が推進されることにより、陸路、海路の両面での様々なプロジェクトで香港の専門家の能力が発揮されることでしょう。」初期段階において重点が置かれるのはインフラ計画となるが、商機は次第にヘルスケア、教育、物流、金融やビジネス専門サービスの分野など多岐にわたるであろう、と同氏は考えています。各分野で存在感を確立し、またビジネスを拡大していこうとする世界中の企業にとって香港は最適な拠点となることでしょう。

今後に向けて

2000年のインベスト香港設立以来、弊局は香港で事業を立ち上げ、拡大しようとする何千もの企業を世界中から誘致してきました。フィリップスはこのチームを率い、こういった役割を引き続き担うとともに、



中国本土及び海外に対して香港独自の強みを発信し続けていくことになります。香港がご提案できることをしっかりとお伝えするために重要市場と位置付ける場所においてイベントを主催・後援し、また世界中の企業と個別のミーティングを積極的に行ってまいります。また、ソーシャルメディアを通じて、インベスト香港のターゲット顧客層への連携を一層深めていきます。

最後に同氏は次のように締めくくりました。「香港という世界でも最も活気があり、刺激的な都市のひとつでキャリアの大半を過ごせたことは幸運でした。アジアにおける一流のビジネスハブとして香港を推進していくというミッションを担いこの地に戻ってくることができ心から喜ばしく思っております。私はインベスト香港のチームと一体となって、海外および中国本土の企業の皆様が香港から世界へと発展していくお手伝いを全力で行う所存です。」



注目国: 中国 – 「粵港澳(広東・香港・マカオ)大湾区」構想

「粵港澳(広東・香港・マカオ)大湾区」構想における香港の好機

「粵港澳大湾区(Greater Bay Area)」構想は、2015年に第13次5カ年計画(2016~2020年)の中で初めて発表されました。大湾区とは、香港、マカオ、広東省の9つの都市で構成される経済圏です。これら地域の経済活動を一体化し、その他の国や地域と対外的な関係を築くことによって、グローバル経済における強固な立場を確立することがこの構想の狙いです。

香港は、域内及び中国本土から海外市場への進出に際しての足がかりとしてよく活用されます。アジアのすべての主要ビジネス都市に飛行機で4時間以内に到達し、世界の人口の約半数に5時間以内でアクセスできる戦略的立地により、中国本土企業のグローバル戦略を支えています。

産業別にみると、この構想から最も大きな恩恵を受けると考えられるのが専門サービス業及び金融サービス業です。国家発展改革委員会の発表によると、2016年の香港・広東省間サービス取引(含法務サービス、金融サービス、会計、建築設計)は前年比で40%増加しています。中国の国際金融拠点である香港は、需要の高まる資金調達、財務管理サービスに対応できる最適な場であり、IPOについても世界トップの地位を維持しています。シンジケートローン、プライベートエクイティファンド、債券、イスラム債券など幅広い資金調達手段が利用可能で、資産・リスク管理、企業財務サービス、保険、再保険についてもアジアの一大拠点となっています。

香港はまた、オフショア人民元サービスの世界最大拠点でもあります。一帯一路構想の資金調達通貨として人民元の人気が増していることから、ビジネスの見通しは明るさを増しています。

一帯一路構想に沿った貿易・投資・インフラ整備の拡大は、契約交渉、契約管理、紛争処理といった法務サービスの需要増につながり、その結果、域内の関連ビジネスにとってもチャンスが広がります。

各企業は、「一国二制度」に基づく香港独自の利点を活かすことができます。「一国」については、香港は中国の一部として中国の強みを享受することができます。一方の「二制度」では香港独自の社会経済システムが認められ、国際社会にとってなじみのある法制度や慣習法が運用されています。

最後にもう一つ重要な点として、人材豊富な香港であれば、国際感覚を備え、西洋と中国のビジネス文化に精通した優秀な人材の確保が可能です。多くのビジネスパーソンは流暢な英語と普通語(標準中国語)、広東語を操ります。

インベスト香港は、中国本土内5カ所(北京、上海、成都、広州、武漢)にオフィスを構え、サポート体制を整えています。



インベスト香港顧客紹介

日本

C& Higo Dining Co. Ltd は、香港で高級日本料理店「割烹 櫓杏」を運営しています。熊本地場の肥後銀行から主に出資を受け、熊本県と緊密に協力しながら地元の食や文化を香港に紹介しています。

尖沙咀 (Tsim Sha Tsui) にある iSQUARE の 28 階にオープンした店舗では、眼下に広がるハーバービューを眺めながら熊本直送の新鮮な食材を使った鍋料理や寿司、刺身などを楽しむことができます。内装は熊本城をイメージしたデザインで、店内の一角には熊本県の名産品や情報を紹介するコーナーも設けています。

産業部門: 飲食

discover.jp.info/roann

Exciting Japan Square は、本格的な日本の食や文化を香港に紹介するため、枳屋グループからの出資を受け、2016 年 11 月に香港に設立されました。

日本の人気和食店の海外営業ライセンスを取得し、現在は銅鑼灣 (Causeway Bay) にある V Point ビルで次の 4 店舗を運営しています。ちゃんこ鍋料理店「鵬」、日本の有名料理人 笠原将弘氏が経営する懐石料理店の海外第 1 号店「賛否両論」、江戸前寿司店の「築地青空三代目」(築地場外に 2 店舗、銀座三越店、名古屋伊勢丹がプロデュースする大名古屋ビルヂング店及び沖縄に 3 店舗を展開)、そして日本スタイルの中華料理というユニークなコンセプトから生まれたラーメン居酒屋「麵酒場 蒜 BILL」です。その他、世界初の忍者レストラン「忍」がオープン予定です。

産業部門: 飲食

excitingjapan.hk

f-code (Hong Kong) Inc は、マーケティングテクノロジーを専門とするデジタルマーケティングコンサルティング企業です。本社を東京に置き、顧客層は日本、香港、中国本土、インドネシア、タイへと広がっています。

同社は顧客企業と連携しながらニーズを把握し、ウェブサイト機能を強化します。日本での 10 年を超えるデジタルマーケティングの実績を基にコンサルティングを行います。特に自社開発のマーケティングテクノロジーである「f-tra CTA」「f-tra Push」「f-tra EFO」を活用したソリューションを得意としています。これらのツールはすでに 2,000 以上のウェブサイトを導入され、ユーザーエンゲージメントを高めるとともに、コンバージョン率の大幅な改善に役立っています。初期分析から総合コンサルティングまで、ウェブサイトのパフォーマンスを向上させる一連のサービスをワンストップで提供しています。

産業部門: マーケティングコンサルティング

f-code.com.hk



2003年に大阪で設立された**黒船**は、創業1919年の長崎堂グループが運営しています。黒船の主力製品であるカステラは、16世紀にポルトガルから日本に伝えられた後、日本人の好みに合うよう工夫され、今では日本の伝統菓子の一つになりました。長崎堂グループは現在、上海に3店舗、台湾と韓国に各1店舗を黒船ブランドとして展開しています。香港には2017年4月に初進出し、そごう銅鑼灣店に香港1号店をオープンしました。

産業部門: 和洋菓子小売
quolofune.com

東京製綱(香港)有限公司は、東京製綱株式会社の100%子会社で、ワイヤロープ、エレベーターロープ及びその関連商品の海外における販売拠点として設立しました。東京製綱株式会社は東洋に最初のワイヤロープとして1887年に創立以来、ワイヤロープ、スチールコード、長大橋(香港ストーンカッターブリッジ)等多くの分野で活躍されています。

ワイヤロープ分野では、特に人命を預かるエレベーターロープにおいて、アジア各国の代表的な超高層ビル、東京スカイツリー・横浜ランドマーク・台北101・上海世界環球中心等の超高速エレベーターを始め、公共施設・商業ビル・住宅用マンション等日本国内に関わらず、中国・アセアン・インド・中東・欧米に至るまで、同社の高品質エレベーターロープが使用されています。

又、同社のエレベーターロープは、マザー工場である土浦工場(日本)と海外生産拠点であるベトナム工場(ホーチミン市)で生産され、香港をプラットホームとして、香港の利点を生かし、世界各国へ供給されています。

産業部門: ワイヤロープメーカー
www.tokyorope.co.jp

